

きょうむそくほう

No.591

【ダイジェスト】



2022年9月21日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

関係会社において墜落死亡事故発生

安全対策について会社へ申入れを実施

全てのJR関係者の「死亡事故・重大労災ゼロ」に向け、今後議論を実施

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

9月20日午前9時26分頃、東海道本線東静岡駅構内において、墜落による関係会社（JR東海からの出向者）の死亡事故が発生した。詳細は現在調査中とのことであるが、被災者は、台風通過後の設備点検中に、橋上駅舎のメンテナンスデッキから床板とともに約10m下の線路上に墜落したものである。

まずもって、被災された方のご冥福を心からお祈りするとともに、ご遺族に対し哀悼の意を表します。

JR東海ユニオンは、「安全の確立」は私たちの事業運営における最重要課題との認識のもと、安全意識の徹底や労使間での課題解決、グループ・関係会社を含めた「安全の確立」に不断に取り組んできた。そして継続的に「運転事故・労働災害の発生状況」について、労使協議において議論し、安全対策を強化することにより、2020年3月に発生した東海道新幹線 小田原・熱海間における墜落死亡災害 2021年10月に発生した中央新幹線 瀬戸トンネルにおける死亡災害以降、死亡災害0件を継続してきたが、今回、このような重大事故の発生を未然に防ぐことができなかった。

今事象について、中央本部は直ちに申第3号「東海道本線東静岡構内で発生した墜落死亡事故に関する申し入れ」を行うとともに、今後は静岡地本等と連携し、労使協議等を通じて原因を究明し、再発防止に向けた適切な対策を講じるよう求めていく。

また、改めて会社との間で、「安全の確立」に向けた具体的取組みを議論し、JRグループで働く全ての仲間の「死亡事故・重大労災ゼロ」実現のために不断に取り組んでいく。